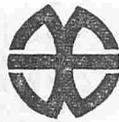


発行所
秋田県天王町役場
(天王局 1番42番
135番)

編集
天王町役場企画室

印刷
一日市印刷所
電話 38番



うのてん報

第27号 昭和41年6月1日発行

町	の	う	ぎ	
本籍数	3,999			
本籍人口	14,021			
世帯数	2,765			
住民登録人口	13,100			
内				
男	6,488			
女	6,612			
5月1日現在				

競争率は七倍

入植希望者全国で七百人

八郎潟中央干拓地への第一次入植募集は目前に迫つたが、入植希望者は予想以上に多いもようだ。

募集についてのくわしい数字はいまのところはつきりつかめないが、今回は約七百五十ヘクタールの干拓予定地について、百人前後を募集するだろうといわれている。

これに対し、入植希望者は秋田県内に五百人、県外に二百人の合わせて七百人以上と推定され、競争率は約七倍。予想以上に激しい。

一方、本町で入植を希望している人はこれまでに四十四名おり、そのうち二十八名、(平均年齢三十二・三歳)が第一次入植を望んでいる。

塩口が八人で一番多く、天王が七人、羽立四人、渋谷三人、上出戸二人、ほかに大崎、中羽立、二田、細谷からそれぞれひとりずつ望んでいる。

本申し込みに先立ち、五月十八日に説明会を兼ねて入植希望者の個人面接が役場で行なわれたが、県新農村建設課の係員に

お気軽にご利用を

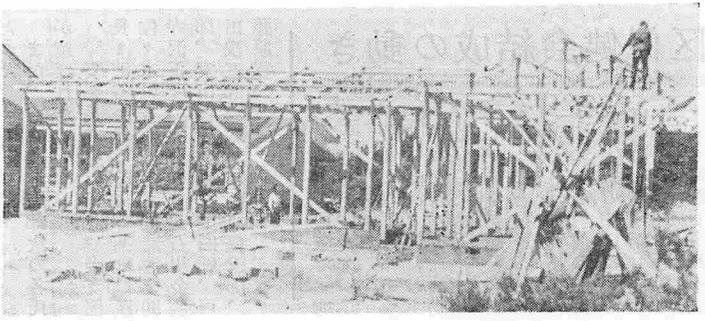
「心配ごと相談室」は毎週月曜日(休日になつていない時は翌日)に開いています。あなたの悩みごと、心配ごとを専任の相談員へお気軽にご相談ください。



出戸に幼稚園設置 独立校舎は7月に完成

町立出戸幼稚園の設置が五月一日付けで認可され、三十九年春以来開設されてきた出戸幼児学級は幼稚園として新しいスタートをきった。住民待望の独立園舎新築工事も着工され七月中旬の完成をめざして、工事は急ピッチで進められている。

独立園舎の建築工事は、村山組(天王)の手で四月二十日に着工。五月十七日に棟上げを終えて、工事は半分以上進んでいる。総工費は三百二十万円が見込まれ、完成は七月二十日の予定。



出戸小裏に建築中の独立園舎を持つ上出戸、下出戸、出戸開拓、細谷、三枚橋、三軒屋、鶴沼台の父兄の喜びは大きい。独立園舎の建設は早くから待たれていただけに、完成が待ち遠しいというようすだ。

七月に二つの統計調査

ご協力ください
この七月一日を調査期日として、二つの大きな統計調査が行なわれます。

事業所統計調査

国の基本的な調査で、三年ごと実施されています。日本国中のすべての事業所(事務所、工場、店舗、飲食店、映画館、駅、学校、研究所、病院、神社、寺院、美術館、公民館など)について、その規模や産業別の構

商業統計調査

わが国の商業について、その構造および活動の実態を明らかにし、商業振興施策の立案、推進の基礎資料とするものです。調査は二年ごとに実施され、すべての商店、商社が調査対象となります。

天連青の新役員

- ▽会長 榎庭東洋▽副会長 榎庭三郎、伊藤幹子▽事務局長 三浦林一▽事務幹事 米谷克雄▽会計 榎庭幸重▽会計監査 鈴木久米雄、佐々木良雄、榎庭清司▽常務理事 佐藤昇(上出戸)、佐々木良悦(下出戸) 真壁謙一(二田)、鈴木作司(羽立)、武田新悦(大崎)、渋谷茂一(渋谷)、榎庭兼三郎(塩口)、藤原孝志(江川)、日野京子、石川則子、三浦ミサ子

会長に三浦氏

天王町身体障害者協会はこのほど総会を開き、四十一年度の行事計画などを話し合った。おもな行事は八月のリクリエーション、九月の全県身障者大会参加など。また、新役員に次の三氏を選んだ。
▽会長 三浦重太郎▽副会長 米谷信徳、佐々木信徳。

13日に開会

〓定例町議会〓
六月の定例町議会は、六月十三日に開会される。昭和四十一年度一般会計補正予算案などが上程される見込み。

も指定統計となっており、該当者は調査票提出の義務があります。

また、調査票に記入された内容については厳重に秘密が守られ、統計目的外に使用されることは絶対ありません。つまり徴税、その他調査票を提出したものの利害に直接関係のあるようなことに使用することは、法律で固く禁じられています。お忙しいところ恐縮ですが、調査の重要性をご理解いただきご協力くださるようお願いいたします。調査員は七月一日過ぎにお伺いします。

住民登録の標語

たくさんおよせください

小、中学生から募集中

町では小、中学生のみなさんから「住民登録(じゆうみんとろく)」にかんする標語をつります。つぎのことがらをよく読んで、たくさんおよせください。

一、およせいただくわけ

「みなさんはどこのかたですか」ときかれたとき「ハイ、天王町です」とすぐこたえられますね。これは、天王町に住民登録をしているからなのです。

このように、住民登録の法律(ほうりつ)はだいいじなことをきめています。しかし、それをしらないで、あやまちをおかしている人が少なくありません。

そこで、住民登録のおきてのわけをよくわからせるために、それに役に標語をみなさんに考えていただくのです。

二、きまり
①字数二十字以内(住民登録のおきてのわけや、ほんとうにもんだいのあつたときのことをよくわからせるためのことばを、二十字以内にとめてください)

②およせになれる人(天王町に住民登録をしている小学生と甲学生のみなさん)

③しめきり日(六月十五日)
④とどけさき(天王町役場町民課町民係(学校の先生にとどけてもよい))

⑤用紙(役場できめた用紙に一枚に一つだけかいてください。(先生にあります))
⑥その他
・家の人におしえてもらつてもつけようです。

(三等までの入賞者には町長から賞状と賞品がおくられます)その他、あつめることにしたがつたみなさんに、参加賞をさしあげます。

七月一日付け広報てんのう(入賞したかたには、べつにおしらせします)

「住民登録ぬきがき」
第一条(目的) この法律は、市町村においてその住民を登録することによつて住民の居住関係を公証し、その日常生活の利便を図るとともに、常時人口の状況を明らかにし、

一人でも何まいだしてもかまいません。
あつまつた作品はお返しいたしません。
賞にはいつた作品は自由に利用させていただきます。

用紙に世帯番号をかくのをわすれないこと。
三、えらんでくれる人
秋田地方事務局戸籍課長
天王町教育委員会教育長
天王町役場町民課長

四、賞
▼一等一名、▼二等二名
▼三等三名、▼佳作二十名

●小学生の作文
世の中の人たちは、みんな神さまのおめぐみで生まれ、元気にすくすく大きくなつてゆきます。昭和四十一年生まれの赤ちゃんも、むかしのおじいさん

も、この世の中のために、生まれてきたことでしょう。
私が生まれたのは、昭和二十九年十二月十八日です。赤ちゃんと

はよくわかりませんが、弱くておもしろいめなかつたそうなんです。いろいろ病気もしたそうです。父や母にかわいがられたり

みんなにしんばいをかけて大きくなりまし。

ある日、父に「順子は、まあばができて、馬みたいだな」といわれました。私は「だつてうまだし生まれたもの」とい

かえしました。馬から生まれな

各種行政事務の適正で簡易な処理に資することを目的とする。

第十九条(届出人) 届出は世帯主がしなければならない。

第二十二條(転入届) あらたに市町村の区域内に住所を定めた者については、住所を定めた日から十四日内に転入届

付をしなければならない。
第二十三條(転居届) 一の市町村の区域内で住所を変更した者については、新住所を定めた日から十四日内に転居届付をしなければならない。

本町の自衛隊員の父兄は、このほど「自衛隊父兄会天王支部」を結成。五月四日に役場会議室で発会式を行なつた。県内では三十四番目の支部結成で、

いのに、馬ににているなんてひにくだと思わない?
「それにしても、かけつこはおそいな」ともいわれました。そうなんです。サラブレッドのように、はやい足はもつていません。うんどうかいでは、いつもびりなんです。それに、クラスのとちがひは、みんなかけつ

いので、つかれてしまします。私のようならまだ生まれませんが、えらい人では、小畑知事もうまだし生まれだそうです。小畑知事が馬だとしたら、

ベルシユロンぐらいだとおもいます。ベルシユロンは、重いものをひくのにつかわれますが、

小畑知事が重いものをひくといふのは、秋田県のせいじで県民のねがいをう

けて、すみよい秋田県にするために、それをすすめてゆくとい

ういみです。まだまだりつばな馬も、まだ生まれてきていない馬もいること

としてしよう。私は、まだやうにたない馬ですが、これからは勉強して、おとなしくてりこう

なポニーのような馬になろうとおもいます。

天王町出身の自衛隊員は現在十八名(海上を除く)いるが、

県内駐とん者ただひとりだけ。それだけに父兄が一つにまとまつたということは、郷里を離れている隊員にとつて心強いものであるといえよう。

発会式には三浦盛典県父兄会長、桑名地方連絡部長それに町長、町議会議長ら多数が出席したが、桑名部長も「めでたく支部が結成され、各地で活躍している隊員もさぞ心強く感じられるでしょう」とあいさつ。喜びの表情をかくしきれないようす

だつた。初めの役員には次の各氏

が選ばれた。
▽支部長 寺沢正彦▽副支部長 洪谷克己▽監事 菊地鉄蔵

佐々木忠吉▽理事 三浦清之助寺沢正彦、洪谷克己、石川金治郎、安田吉憲、竹沢伝四郎、戸田茂五郎▽顧問 藤原慶三郎、藤原寛一。

成は、次の日程で行なわれる予定である。
▽六月六日 中羽立、塩口、羽立▽七日 洪谷、児玉、江川八日 鶴沼台、二田駅前、二田上▽九日 二田新町、細谷、出戸開拓▽十日 下出戸、上出戸

相続税のあらまし
「相続税とは……」
相続税は、死亡したときに相続によつて財産が移転したときにかかる税金です。
「納税義務者とは……」
納税する人は、相続によつて財産を取得した人です。
「税法改正で減税は……」
四十一年度の税法改正によつて、次のように大幅に減税されました。(カッコ内は改正前)
◎基礎控除 四百万円(二百五十万円)
◎法定相続人一人当たり 八十万円(五十万円)
◎婚姻後二十五年を経過した配偶者がある場合(遺産控除) 二百万円(なし)
「税金の計算は……」
妻と子ども三人で相続する場合、
400万円+80万円×3人
=640万円
となりま

を深めるといふ大きな意義をもつている。
天王町出身の自衛隊員は現在十八名(海上を除く)いるが、

県内駐とん者ただひとりだけ。それだけに父兄が一つにまとまつたということは、郷里を離れている隊員にとつて心強いものであるといえよう。

発会式には三浦盛典県父兄会長、桑名地方連絡部長それに町長、町議会議長ら多数が出席したが、桑名部長も「めでたく支部が結成され、各地で活躍している隊員もさぞ心強く感じられるでしょう」とあいさつ。喜びの表情をかくしきれないようす

だつた。初めの役員には次の各氏

が選ばれた。
▽支部長 寺沢正彦▽副支部長 洪谷克己▽監事 菊地鉄蔵

佐々木忠吉▽理事 三浦清之助寺沢正彦、洪谷克己、石川金治郎、安田吉憲、竹沢伝四郎、戸田茂五郎▽顧問 藤原慶三郎、藤原寛一。

町内の各地域で「地区保健会」を結成しようという動きがあり、注目されている。

住民が自主的な活動によつて保健衛生を改善し、衛生思想の向上を図ることを目的とした組織で天王地区ではすでに結成。他の部落でも、六月中にはほとんど組織づくりが行なわれる見込である。

とくに注目される点は、住民が自らの手によつて保健衛生の改善環境衛生の整備にのりだそうとして

しているもので、その成果は多いに期待される。他の市町村でも、なりゆきを見まもつている。

また、各部落の地区保健会結

地区保健会結成の動き
町内の各地域で「地区保健会」を結成しようという動きがあり、注目されている。

「延納、物納もできます……」
一時に納付できないときには延納、物納の制度をご利用ください。
その他くわしいことは、税務所資産課係へお問い合わせください。(電話秋田五一一六一)

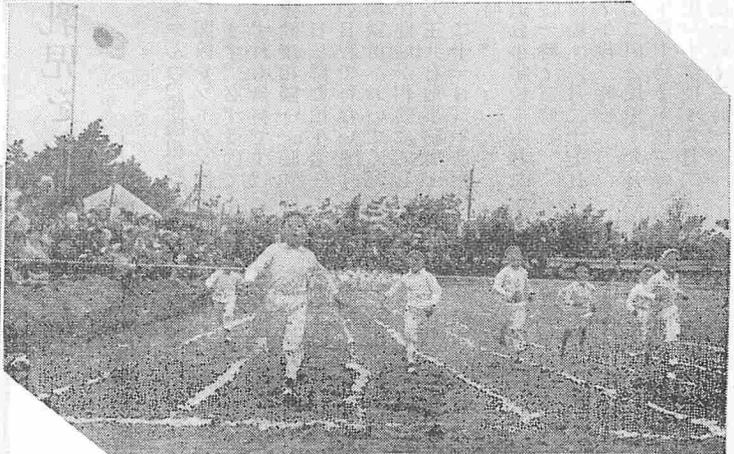
五月のすずなづ



この人は以前漁師だったのだろうか？ 残存湖につり糸をおろして、快い初夏の風に吹かれながらジツと水面を見つづけている。(大崎地先で)



小畑知事は5月16日、県単パイロット地区になっている下出戸団地のビニールハウスを視察。農作業にいそしむ佐々木肇、佐々木幸吉さんらを激励した。



5月は運動会の季節でもある。「ガンバレ」「負けなどオー」の声援をおくる人たちは、しばしの間だけでもひごろの忙しさを忘れる。(天王小学校で)



田植えは、農家にとって一番忙しい時なのにその風景はどこかのどかだ。1,200ヘクタールの田んぼでは、も草取りがはじまっている。(出戸)



5月11日～20日まで「春の交通安全運動」がくりひろげられた。「交通安全」の願いをこめて行なわれたパレードと黄色い羽根を配る藤原町議会議長

